



信頼の絆で結ばれた安心して暮らせる地域社会づくり

生活協同組合 コーポやまぐち

事業案内



受付
'18.10.18
キャリアセンター

社会や時代と共に消費者のくらしも変化の中で、コープやまぐちのあり様も変化が求められます。「みんなが力を合わせてお互いが信頼しあい安心して暮らせる地域社会」を創っていくことが、私たちの社会的役割と捉えて、信頼の社会形成に向けた「絆づくり」をすすめ、くらしにお役立ちできる事業と運動をめざしています。

基本理念

「一人ひとりの願いを寄せ合い、 私たちのまちに人間らしい豊かなくらしの創造を」

少子長寿社会の様々な問題を抱える地域社会において、今こそ協同の力で「人間らしい豊かなくらし」をめざし、生活者である私たち一人ひとりが様々な願いや望みを持ち寄り、知恵や助け合いの心と力を結集し、協同することで、その願いを一つひとつかなえていこうという組織理念です。

【私たちの使命】

1. 私たちは、組合員と職員の願いをもとに、目標を明確にして、人と人がつながりあって、共感しあいながら協同の力を強め、くらしに役立つ事業を築きます。
2. 私たちは、一人ひとりが自主性を持ち、主体的に関わる民主的組織をつくり、お互いを尊重し、認め合い、思いやりとやさしさを持った組織運営をすすめます。
3. 私たちは、必要とされる事業を成り立たせ、社会的責務を果たし、くらしの安心と信頼の絆を築くことで、組合員・職員・お取引先や関連業者とその家族の幸せと地域社会への貢献をめざします。

【基本方針】

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. 組合員満足の向上を追求し続けます。 | 6. 公正妥当な会計処理と情報開示、コンプライアンス(法令順守)とガバナンス(組織統制)を継続強化していきます。 |
| 2. 永続的に存続・成長できる事業をめざします。 | 7. 職員満足の向上を追求していきます。 |
| 3. 目標に向かって心をついにし、協同の力を発揮していきます。 | 8. 生産者やお取引先と対等な取引と誠実な対応を大切にしていきます。 |
| 4. 民主的な組織運営を追求します。 | 9. 行政や他団体等とのパートナーシップを大切にしていきます。 |
| 5. 自主的・主体的に生協へ関わる参加の場を広げていきます。 | |

自分たちの手で未来をつくる取り組み

商品開発

「こんなものがあっていいね」。組合員の声をもとにすすめられるコープ商品開発。コープの考え方を理解し、協力してくださるメーカーと一緒に、試作・検討・改良を繰り返す。組合員の厳しい目と声が反映され、コープ独自の基準をクリアしたものがコープ商品として組合員の元へ届けられます。



産直活動

「産地直送」の一方通行でなく、生産者と消費者が直接手を結び、お互いが助け合うシステムが生協の「産直」。生産者と消費者がパートナーシップを高め、誰がどこでどのように作っているのかを明確にし、相互交流を深めています。昭和46年からスタートしたコープやまぐちの産直活動。現在では多くの生産者と提携し、産地や生産者との交流も活発に行われています。



地産知食運動

一般的に定着した「地産地消」の取り組みが持つ、多面的な意義を考え、より豊かなくらしと住み良く活力ある街づくりを目指し、消費者組織としての「地産知食」運動を進めています。生産と消費を結びつけるもの、それは「知ること」、「食べ物を知る」「生産を知る」「食べ方を知る」をキーワードに「地産知食」運動に取り組んでいます。



行政や他団体と連携した地域づくり

住みよい街づくりをめざし、1996年度から毎年「行政との懇談会」を行っています。懇談会の継続によって、平和・環境・消費者問題において様々な行政との協同活動もすすみ、消費者運動をすすめる生協への理解もすすんでいます。また、2006年度からは、「コープやまぐち女性いきいき大賞」にも取り組み、地域のボランティア団体等を表彰・応援することで地域の元気づくりを目指しています。2009年度からは、山口県立大学と連携した「私らしく生きる生きかた講座」を開催しています。



健康

有害な食品添加物を除いた安心・安全な商品作りや産直活動など、組合員の健康を守る様々な活動を行っています。「安心なくらしは健康から」の考え方のもと、コープやまぐちでは「食の安心・安全研究センター」で独自の基準に基づいた厳しい商品検査や組合員の中での専門家「かたりべ」を講師にした学習会など、組合員の健康を守る活動を積極的にすすめています。



福祉

「愛を届ける、幸せを広げる」～長寿社会へのシフトが顕著な中で、点字翻訳グループや手話グループなどの組合員の自主的な活動が積極的に取り組まれています。また、地域の中での組合員どうしの助け合い活動や、福祉生活協同組合さんコープなどとも連携して、様々な活動に取り組んでいます。



平和

「くらしの安全」を実現するには、世の中が平和であることが必要です。そして、子どもたちに平和な未来を残していくことは、私たちの共通の願いです。コープやまぐちでは、一人でも多くの方が平和について考え行動していけることを目指し、各地域ごとのピースアクションや平和折りづる飾り、核兵器廃絶の署名活動など、山口県原爆被害者支援センターゆだ苑などの他団体とも協同した平和活動に取り組んでいます。



環境

買い物袋持参運動、省資源運動、リサイクル運動など長年にわたる環境を守る取り組みを進めています。近年では、環境に関する学習会や環境調査活動、家庭でできる省エネ活動などに取り組み、2007年3月には環境活動の国際規格「ISO14001」の認証を取得し、事業を通じた環境活動も継続してすすめています。



文化

くらしの中の文化を育て、組合員同士や地域の人々とのコミュニケーションをはかるため、様々な分野での組合員の自主的な活動を積極的にバックアップしています。それぞれの活動を結びネットワークをつくり、よりよいくらしと住みよい街づくりを、組合員が生協を通じて実現する場の提供を進めています。



声を聴き応え広げる取り組み

生協に寄せられる声は、一人ひとりのくらしの願い。その願いを事業や運動を通してかなえていくために、宅配や店舗、組合員サービスセンターでの受け付け等、組合員の声を聴き応える取り組みを行っています。それらの声は事業の改善や組合員活動の充実に活用するとともに、よかったよの声は県内全世帯配布の「くらしやまぐち」などの広報誌やホームページ等でも取り上げています。



人と人の「絆づくり」を大切に、コープの事業ネットワークで安心して暮らせる地域社会づくりをすすめます。

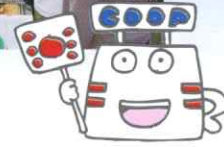
宅配事業

商品カタログでの注文方式で、毎週決まった曜日に個人宅またはグループに商品をお届けする事業です。山口県全域をカバーするライフラインを目指すコープの基幹事業で、子育て中のお母さんを応援する「赤ちゃんサポートクラブ」や高齢者や身障者への個配特典などのサービスも展開しています。



店舗事業

安心・安全のコープ商品を中心に、産直商品、県内の「地産知食」商品などを品揃えしたスーパーマーケット事業です。「おいしい」「やさしい」「たのしい」お店を目指し、利用する組合員の立場にたった「買場」に、食べたい、使いたい商品を取り揃えた、ふだんのくらしに答える組合員のお店です。また、あらゆるジャンルの書籍8万冊を品揃えしたコープブックセンターも展開しています。



社団法人

やまぐち食の安心・安全研究センター

消費者の食の安全意識と生産者組織の安全意識の高まりから、生協グループとJAグループで共同で設立した商品検査センターです。生協部門では、微生物検査・理化学検査(食品添加物検査・残留農薬検査)などを、独自の厳しい基準で行っています。組合員の食の安心・安全を科学的に保証する役割を担っています。



コープサービス株式会社

組合員の生活全般にわたる要望に応じていくために生協の出資により設立された会社です。コープやまぐちで取り扱っていない商品やくらしに役立つさまざまなサービス(住宅リフォーム、白蟻駆除、宝石・呉服、イージーオーダー、生ゴミ処理機、チケット販売、引っ越し斡旋、保険など)を提供し、組合員のくらしを応援しています。



主な事業

共済事業

組合員の声とニーズに応え、保障内容の充実と質の高いサービスの実現を目指す共済事業。宅配の地区担当やコープの店舗が窓口となり、共済加入の申し込みや共済金の申請ができ、安心・スピーディー・簡単なのが特徴です。「自分の掛け金が誰かの役に立つ」という組合員どうしの助け合い、それがCO・OP共済です。

たすけあい あいふらり 終身共済



夕食宅配事業

夕食をお弁当形式で個人のお宅までお届けする事業で多くの利用者に喜ばれています。安否確認サービスや情報提供などの地域に密着した活動でお役立ち度を高めることも目指しています。お弁当は管理栄養士が監修した日替わりメニューで、高齢者に限らず、食事の準備が困難な方など幅広い年齢層の方に利用されています。



有限会社イノーバ

生協の事業ではカバーできない傷害や自家用車などの損害保険、ガンなどの生命保険の代理店業務を行い、組合員のくらしの保障に応えています。

関連会社

株式会社COCOLAND

ホテルやコンベンション、体育館やプール、テニスコートなどのスポーツ施設、老人ホームなど高齢者福祉施設など各種の機能を併せ持つ都市型複合リゾート施設です。家族や仲間とのコミュニケーションを深め、子どもからお年寄りまで県民みんなに喜ばれる場をめざしています。



生協間の連帯

より大きな協同の力で組合員のくらしに貢献します。



生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合

中四国9つの地域生協が出資し運営をする事業連合。商品の共同仕入、開発など、一つひとつの生協ではできなかったことを実現するために、事業連帯した法人組織です。



日本生活協同組合連合会

全国の生協や事業連合などが加入する組織です。全国コープ商品の開発・供給・会員生協の事業および運営への指導的役割を担う、日本最大の消費者組織です。

農業生産法人株式会社ココ・ファーム

消費者組織であるコープやまぐちが、自ら生産を行う「農業生産法人株式会社ココ・ファーム」を設立。生産活動を通して、「消費者の農業体験と農業・食を考える場づくり」、「消費者の求める安全でおいしい農産物の生産・供給」、「農業の担い手育成や地域の活性化」をめざします。収穫した野菜は主に、コープやまぐち店舗で取り扱っています。



生協の組織

生協は、組合員自身が《出資》し、事業を《利用》し、自分達の手で《運営》する組織です

運営

生協は組合員自身のものです。組合員は生協の出資者、利用者であると同時に経営者です。事業の方針や計画の論議と決定には、組合員の代表が参加します。また、日々の運営にも組合員の声が活かされます。

出資

生協は、消費者一人ひとりが「より安全で、より良い物、より安い物を安心して利用したい」という願いを込めて、家計の中から拠出されたお金(出資金)を出し合って創られています。

利用

生協は、生活に必要な商品やサービスを利用するために組合員が協同で事業を行い、利用する場です。組合員の声で創った商品をみんなで利用することで、さらに充実します。

